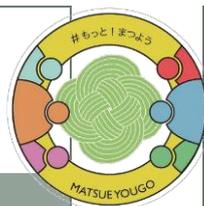


あしたも えがおで

～#もっと!まつよう～ まつよう校長だより 2024.5.15 NO.2



青空が広がる爽やかな季節となりました。昼休みは、楽しそうに外で遊ぶ子どもたちの姿が見られ、元気な声が中庭や運動場いっぱいに響いています。今月は、各学部で「運動会」「体育祭」が開催されます。本番が近づいてくると、準備や練習にも熱が入り、日に日に期待も高まってきたようです。みんなで協力してつくりあげ、ともに楽しみ、喜び合える充実した学部行事になるよう、子どもたちを支援していきたいと思ひます。

乃木校舎の「ヒドゥンカリキュラム」

サービスショップ Recolte*n



先日、乃木校舎の校内営業「プレ営業」に評価者として参加してきました。乃木校舎では、5月28日(火)の営業開始に向け、この「プレ営業」を2回実施します。

来店者として、各作業班を回り、洗車の依頼、惣菜や服飾等の買い物、食事、見学をしながら、「あいさつ」「店員の対応」「協調・協力」等の項目別に点数をつけ、コメントを記入しました。この評価を受けて、各作業班で話し合い、改善策を考え実行するという実践的な学びを行っています。

まだ入学して間もない1年生も、作業班の一員として真剣に取り組んでいる姿を見てうれしくなりました。清掃サービス班は、2階の窓拭き作業をしていました。とてつもなく長く重いスクイージーポールを二人一組で見事に扱っていました。上級生がポールを持ち上げると同時に、ポールの先端部を持つ1年生は、息を合わせて勢いよく振り上げます。窓拭きが終わると、ポールをゆっくりと下ろし、また1年生が先端部をキャッチします。その作業風景は、まるでショーを見ているかのようでした。

この日、思い出した言葉があります。それは、5年前、乃木校舎に研究の指導講師としてお招きした武田鉄郎先生(和歌山大学名誉教授)が作業学習を見ておっしゃった「**ヒドゥンカリキュラム(影のカリキュラム)**」です。「ヒドゥンカリキュラム」とは、学校のフォーマルなカリキュラムの中には無い、知識、行動様式、意識やメンタリティが意図しないままに生徒から生徒へ教えられていくことだと説明してくださいました。

上級生が下級生に作業の手順やノウハウを丁寧に、わかりやすく教えている姿、下級生のがんばりを褒め、もっと・・・するとよいといった的確なアドバイスをする姿、そして、上級生が立派な手本を見せる姿……。ここ、乃木校舎では、作業学習の「ヒドゥンカリキュラム」が脈々と受け継がれています。



みのり CleanService 窓掃除